



平成 25 年 9 月 16 日  
ストラスブール研究連絡センター

## フランス高等教育研究省(MESR)

### ●「上海ランキング 2013」

2013 年 8 月 15 日、上海交通大学の世界大学学術ランキング 2013 が発表された。本ランキングは、世界各国の 17000 校から 500 の優れた大学を選出している。本年のランキングは全体としては、米国の大学の優越性とアジア諸国の台頭を示す結果となった。

フランスに関しては、500 位内に 20 校が、そのうち 4 校(パリ第 6 大学 37 位、パリ第 11 大学 39 位、エコール・ノルマル・シュペリエール 71 位、ストラスブール大学 97 位)が 100 位以内にランクインした。また、500 位内にランキングした大学数の国別ランキングでは 6 位(1 位アメリカ、2 位ドイツ、3 位イギリス、4 位日本、5 位カナダ)に位置し、昨年と同じ順位だった。

今回の結果を受けて、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育研究大臣は、本ランキングがアングロサクソン系の大学に有利な基準を用いており、CNRS(科学論文数が世界一)など研究機関の業績が考慮されず、また、人文社会科学系が過小評価されていることに触れた。フィオラゾ大臣は、そうした背景にもかかわらずフランスの 20 校がランクインしたことを称えた。そして、フランスが欧州内で主導的役割を持って取り組んでいる U-Multirank では、より包括的な基準で世界の大学・高等教育機関を評価できることを強調した。U-Multirank の初回結果は 2014 年の春に発表される。

・フランス高等教育研究省 “Classement de Shanghai 2013 : la France conserve son rang” (2013 年 8 月 16 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid73365/classement-de-shanghai-2013-la-france-conserve-son-rang.html>

・Le Monde 紙 “Le palmarès des universités bousculé par l’Asie” (2013 年 8 月 16 日)

・DNA 紙 “Strasbourg dans le top 100 des facs” (2013 年 8 月 16 日)

### ●「学生への経済援助:新学期の費用軽減へ」

2013 年 8 月 19 日、新年度開始を前に、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育研究大臣は、低所得家庭の学生のための就学中の経済援助について触れた。概要は以下の通り。

2013 年 9 月から奨学金制度改革を行う。

1. 年収 33,100 ユーロ以下の家庭の学生 50,000 人余りに年間 1,000 ユーロの奨学金を支給する(以前は無支給)。

2. 年収 7,540 ユーロ以下の家庭の学生 30,000 人に 5,500 ユーロの奨学金を支給する。

3. 両親と離れて生活している学生 1,000 人に対し 4,000 から 5,500 ユーロの個人手当を支給する。

また、住居費が学生の生活費に占める割合の高いことから、その負担軽減のため、5年間で40,000戸の学生寮を建設する。2013年度の開始より、8,500戸(リフォーム4,600戸、新築3,900戸)が利用される。また、特に学生の多い6地域(イル・ド・フランス、アキテーヌ、プロバンス=アルプ=コートダジュール、ミディ・ピレネー、ローヌ・アルプ、ノール=パド・カレー)に重点を置く。

・フランス高等教育研究省 “Agir pour limiter le coût de la rentrée étudiante” (2013年8月19日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid73368/agir-pour-limiter-le-cout-de-la-rentree-etudiante.html>

・JSPS ストラスブール研究連絡センターフランス学術情報(平成25年7月分)

### ●「学生寮の増設:優先事項」

2013年8月20日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育研究大臣は、新学生寮の除幕式出席のため、ボンディのパリ北 I.R.D.(開発研究所)を訪れ、政府が学生寮の建設を優先事項としていることを強調した。フィオラゾ大臣は、CROUS(クルース:学生生活センター)が現在管理している学生寮(165,000戸)の約25%に当たる40,000戸を5年間で増築すると語った。既に、30,000戸が存在し、内13,000戸をイル・ド・フランスに予定している。

また、アキテーヌやミディ・ピレネー地方で施行されている制度に倣って、外国人留学生や家庭の事情により保証人を見つけることが難しい学生を対象に、保証人を推薦する制度を設ける。この制度は、大学の1学年度に相当する10ヶ月間利用可能である。このため、高等教育研究省及びフランス預金供託公庫がそれぞれ30万ユーロ、本制度のオペレーターである信用協同組合は400万ユーロを負担する予定である。

・フランス高等教育研究省 “Agir pour limiter le coût de la rentrée étudiante” (2013年8月19日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid73368/agir-pour-limiter-le-cout-de-la-rentree-etudiante.html>

### ●「大学-企業間の連携強化」

2013年8月30日、フランス起業運動(MEDEF)の夏期研修開会式に招かれたジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育研究大臣は、高等教育と社会経済界との連携を強化する意志を伝えた。2013年7月22日に可決された法律には、社会経済界の高等教育の在り方に対する発言権の強化等の措置が盛り込まれており、学生の労働市場へのスムーズな意向を促進する政策を話し合う委員会が設置される。委員会は、新規の職種や必要とされる能力・教育に関する戦略や展望についての考察、経済界の需要と高等教育との距離を縮めるための政府への政策提言、関係者間の情報仲介の3機能を果たす。

・フランス高等教育研究省 “Renforcer les liens universités-entreprises” (2013年8月30日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid73477/renforcer-les-liens-universites-entreprises.html>

## ●「フィオラゾ大臣のアンジェ・ショレ I.U.T.(工業技術短期大学)訪問」

2013年9月9日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育研究大臣は、アンジェ・ショレ I.U.T.(工業技術短期大学)を訪問した。学長と I.U.T.所長に迎えられたフィオラゾ大臣は、学生の学業成就と高等教育の民主化という政府の2大目標を改めて伝え、職業バカロレア合格者受け入れ強化や、研修の活用等、卒業後の進路を視野に入れた教育を激励した。

・フランス高等教育研究省 “Rentrée étudiante : déplacement de Geneviève Fioraso à l'I.U.T. d'Angers-Cholet”(2013年9月9日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid73685/rentree-etudiante-deplacement-de-genevieve-fioraso-a-l-i.u.t.-d-angers-cholet.html>

・フランス高等教育研究省 “Discours de Geneviève Fioraso à l'occasion du coup d'envoi de la rentrée étudiante à l'I.U.T. d'Angers-Cholet”(2013年9月9日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid73687/discours-de-genevieve-fioraso-a-l-occasion-du-coup-d-envoi-de-la-rentree-etudiante-a-l-i.u.t.-d-angers-cholet.html>

## ●「女性による起業の推進」

2013年8月27日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育研究大臣、ナジャット・ヴァロー＝ベルカセム女性権利大臣・政府報道官、フルール・ペラン生産再建大臣付中小企業・イノベーション・デジタル経済担当大臣の立会いのもと、女性の起業推進計画が提出された。

2012年11月30日に行われた「女性の権利と男女平等に関する閣僚委員会」において、女性による起業を推進する計画を実行することが決定された。これは、フランスでは、女性による起業が全体のわずか30%、新しく創設された革新的企業のうち女性が経営しているものが10%しかない現状を踏まえたものである。2011年の国際比較では、18～64歳の年齢層の女性が会社を設立、または、新規企業の所有者である割合が、フランスでは3%に満たないのに対し、ドイツでは4.5%、英国5.2%、米国10%以上である。この現状を改善するために、2017年までに、女性起業家の割合を10ポイント上昇の40%を目指す。

本計画は、女性に対して起業への喚起および情報提供や方向付けの支援、女性起業家のサポート強化、女性企業家への融資支援の3本柱で取り組む予定である。

・フランス高等教育研究省 “Entreprendre au féminin : des opportunités pour elles, une clé pour la compétitivité et l'emploi”(2013年8月27日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid73442/entreprendre-au-feminin-des-opportunités-pour-elles-une-clé-pour-la-compétitivité-et-l-emploi.html>

## ●「ITER 閣僚会議」

2013年9月5、6日に開催された ITER(国際熱核融合実験炉)閣僚会議の際、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育研究大臣が演説を行った。フィオラゾ大臣は、同5日、マルセイユ MuCEM(欧州・地中海文明博物館)にて海外からの閣僚団を迎え、ITERの課題である「世界的に増加しているエネルギー需要に応えるために融合エネルギーを使いこなす」重要性について語った。また、同6日、カダラッシュでの ITER 閣僚会議の開会式で演説し、ITER で取り組む融合テクノロジーで

は、次世代の持続可能なエネルギーの開発を目指しており、人類にとっても科学にとっても冒険的で比類なき国際プロジェクトであることを強調した。

今回の閣僚会議開催地となったカダラッシュは ITER の本拠地であり、2013 年 1 月 17 日には、本島修 ITER 機構長とギュンター・エッティンガー（欧州委員会エネルギー担当）委員の立会いの下、除幕式が行われている。

・フランス高等教育研究省 “Discours de Geneviève Fioraso lors de l'ouverture du Conseil ministériel d'ITER” (2013 年 9 月 6 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid73650/discours-de-genevieve-fioraso-lors-de-l-ouverture-du-conseil-ministeriel-d-iter.html>

・フランス高等教育研究省 “Allocution d'accueil de Geneviève Fioraso pour les délégations ministérielles étrangères du Conseil ministériel d'ITER au MuCEM” (2013 年 9 月 5 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid73637/accueil-des-delegations-ministerielles-etrangees-conseil-ministeriel-iter-mucem.html>

**フランス高等教育研究省 (MESR)・フランス国立科学研究センター (CNRS)・フランス国立情報学  
自動制御研究所 (INRIA)**

#### ●「Les Journées européennes du patrimoine (欧州文化遺産公開日)」

2013 年は文化遺産公開日を開始して 30 周年、また、文化遺産保護に関する法令ができて 100 周年の記念すべき年である。今年も 9 月 14、15 日の欧州文化遺産日に、フランスや欧州各地で通常非公開の文化遺産が公開され、市民が身近に文化遺産に触れる機会が提供される。フランス高等教育研究省、CNRS、INRIA もこれに合わせ、それぞれの関連文化遺産を公開する。例えば、高等教育研究省は 1981 年から遺産として保護の対象になっている。また、CNRS は、天体観測所やオルセーの旧 LAL 加速器制御室の見学等を含む様々な催し物をフランス各地の CNRS 研究所で企画する。INRIA は、同 15 日にサクレーのデジタル機器遺産の展示と関連イベントを予定している。

・フランス高等教育研究省 “Journées européennes du patrimoine au ministère : 14-15 septembre 2013” (2013 年 7 月 23 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid73181/journees-europeennes-du-patrimoine-au-ministere-14-15-septembre-2013.html>

・CNRS “Les Journées européennes du patrimoine avec le CNRS les 14 et 15 septembre 2013” (2013 年 9 月 6 日)

<http://www.cnrs.fr/fr/journees-patrimoine/journees-patrimoine-2013.html>

・CNRS “Le CNRS dévoile son patrimoine !” (2013 年 9 月 10 日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3213.htm>

・INRIA “Visite du centre et expositions pour les Journées du Patrimoine” (2013 年 8 月 19 日)

<http://www.inria.fr/centre/saclay/actualites/visite-du-centre-et-expositions-pour-les-journees-du-patrimoine>